

〔様式1〕 平成19年度 事務事業評価表							
記入年月日	平成19年3月29日		記入者	野村 典夫		連絡先	760-5445
平成18年度部名	学校教育部		課名	相模川自然の村野外体験教室		課長名	望月 寛
平成19年度部名	学校教育部		課名	相模川自然の村野外体験教室		課長名	木原 裕二
事務事業名	新市小学生交流事業						
予算上の事務事業名	新市小学生交流事業						
1 総合計画における位置づけ			施策コード	14123			
基本目標	I「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして						
政策名	第4章 人間性豊かな子どもを育成します						
基本施策名	第1節 ゆとりある学校教育の創造						
施策名	第2施策 小・中学校教育の充実						
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等							
3 個別計画の概要							
計画名							
計画年次	年度～	年度					
4 事業形態の区分	施設運営		5 事業開始年度	平成18年度			
6 事業概要							
(1) 事業の目的（何のために行うのか、またはもたらしたい成果）				(2) 対象（誰、何）			
合併により新市となる相模原市、津久井町、相模湖町、藤野町、城山町の小学生の一体感を醸成するため、野外体験活動の実施場所を津久井町、藤野町等に拡大して、新市の子どもたちが豊かな自然環境を体感し、かつ、野外体験や宿泊などのふれあい体験を通して相互交流を図る。				小学4年生～6年生			
(3) 平成18年度事業の内容（活動）・・・いつ、どのような方法で実施した内容（活動）なのか。							
平成18年8月に、1泊2日で、合併した津久井町及び相模湖町の小学生と相模原市の小学生を募り、自然の村野外体験教室に宿泊し、体験活動をすることにより同じ相模原市民としての一体感を深め、また、新市となった津久井地区（津久井町の宮ガ瀬湖）で共同して植樹をすることにより、新市の自然状況を体感し理解することをもって相互理解を深めることを目的として計画したが、台風7号の襲来により急遽中止し、後日日帰りにて宮ヶ瀬湖畔にて体験活動と記念植樹を行った。							
植樹参加者 77名 報償費 100,000円 需用費 341,699円 使用料及び賃借料 94,500円							
7 関連事業・類似事業又は他市の状況							
8 事業費の推移 [単位：千円]							
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度		
事業費	0	0	536	1,730	1,730		
一般財源	0	0	536	1,490	1,490		
受益者負担金	0	0	0	0	0		
その他の特定財源	0	0	0	240	240		
人件費の合計	0	0	644	644	644		
事業コスト合計	0	0	1,180	2,374	2,374		
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率							
事業名 (主たる事業名)	新市小学生交流事業			対象名称 と単位	参加者(人)		
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度		
事業コスト(主たる事業)	0	0	536	1,730	1,730		
対象数	0	0	77	200	200		
単位あたり経費(円)	#DIV/0!	#DIV/0!	6,961	8,650	8,650		
前年度比		#DIV/0!	#DIV/0!	1.24	1.00		
10 活動指標・・・実施した内容(活動)を数値化したもの							

指標名と単位	参加者数	指標式と指標の説明	交流事業に参加した人数		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	77.0		
目標	0.0	0.0	200.0	200.0	200.0
目標達成度(%)	#DIV/0!	#DIV/0!	38.5		
1.1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	交流参加者数(人)	指標式と指標の説明	交流に参加して交流し、新市の施設及び旧町の自然等を体感し、人的な理解及び懇親を深めた人数		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	77.0		
目標	0.0	0.0	200.0	200.0	200.0
目標達成度(%)	#DIV/0!	#DIV/0!	38.5		
1.2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A:妥当である・B:妥当性に課題がある・C:妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A:有効である・B:有効性を高める余地がある・C:有効でない]					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A:効率が良い・B:効率性を高める余地がある・C:効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性 [有・無]					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1.3 総合評価(一次評価)					
(1) 自動判定結果					
★★★★	[★★★★]:良好な状態を維持する事業				
	[★★★]:概ね良好な状況である事業				
	[★★]:見直しを行う必要がある事業				
	[★]:抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課長による評価(今後の方向性)			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		本年度は台風の襲来により規模を縮小し順延したため、参加できない人が出て所要の成果を上げることができなかったが、旧町を理解し、新市の市民の理解と交流に有効な事業である。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1.4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1.5 課題として認識されたこと		
新市となった旧町の風土、自然等を理解するため、旧町の豊かな自然環境で活動を計画し、地域住民等の関わりも計画する。			旧町の参加者の募集が、野外体験教室の認知度が低いため苦労した。 学校や自治会等を利用して広く募集をするようにする。		
1.6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価(今後の方向性)			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			